

暑寒別岳・羊蹄山

山行日：2019.6.24～28 メンバー：ht、tm、sm、hh、yy 天候：晴れ 記：ht
 コース：24日羽田空港/7:00—新千歳空港/9:30—留萌/14:21—増毛/16:20—暑寒荘
 /17:5025日/4:45—滝見台/8:10—暑寒別岳/10:50—滝見台/13:10—暑寒荘
 /15:45—増毛民宿/16:4526日/増毛/7:23—留萌/8:11—小樽/11:07—ニセコ
 /13:15—ホテル/15:4527日/4:30—比羅夫登山口/4:50—5合目/7:15—山頂
 稜線/9:45—羊蹄山山頂/10:30—真狩下山口/11:40—5合目/13:55—真狩登山
 口/15:4028日/ニセコ/8:40—小樽—新千歳空港/13:30—羽田空港/15:05

羽田からキャンセル空席便での移動日、増毛は夕方着
 タクシーで暑寒荘避難小屋へ



予想以上に清掃が行き届き、個室部屋のある小屋だった
 野外のトイレは太陽光照明で快適な水洗式（ペーパー付）



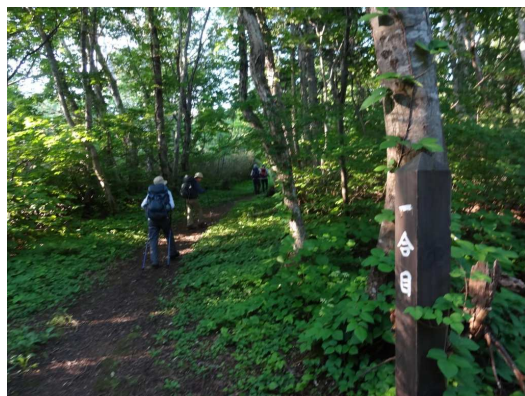
マイカーで九州から来て
 1か月半の予定で
 北海道を巡っている単独
 中高年者と他1名が先客

翌日4時45分の早立ち

ヒグマの本場だけのことはある注意の看板



この時期ブヨが多いとのことであるが



早速の山の主の置き土産が、今朝排出したばかりのようだった



用心用心



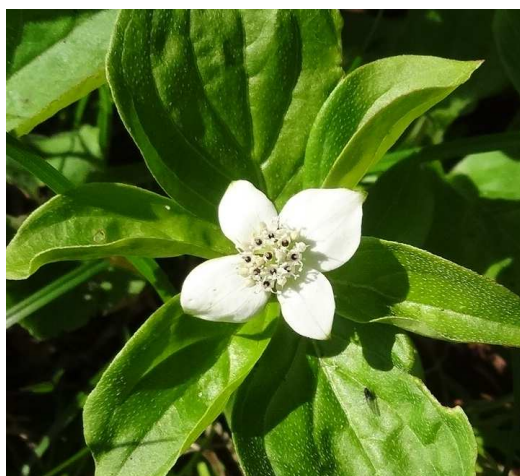
ダテカンバ帯を乗り越えガレ場の急登をこなすと



増毛の街と留萌方面 中央奥はポロシリ山か（730m）



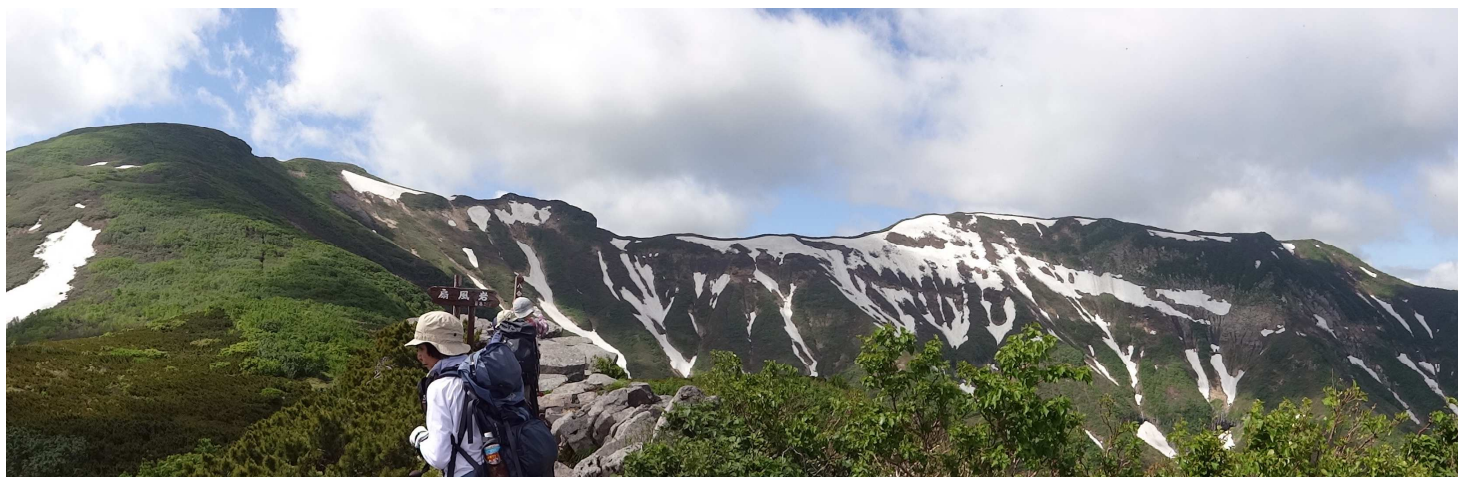
ようやく稜線が見えてきた



滝見台に到着

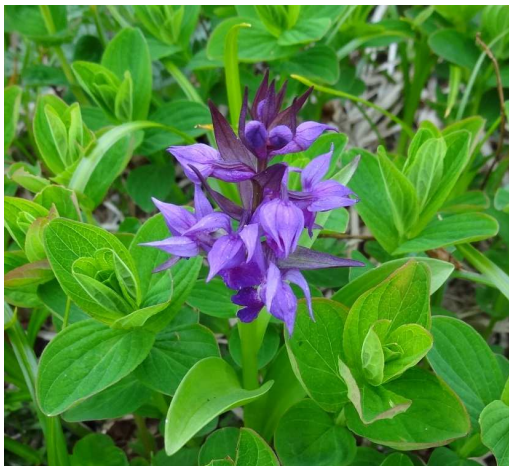


暑寒別岳から西暑寒別岳への残雪に覆われた稜線





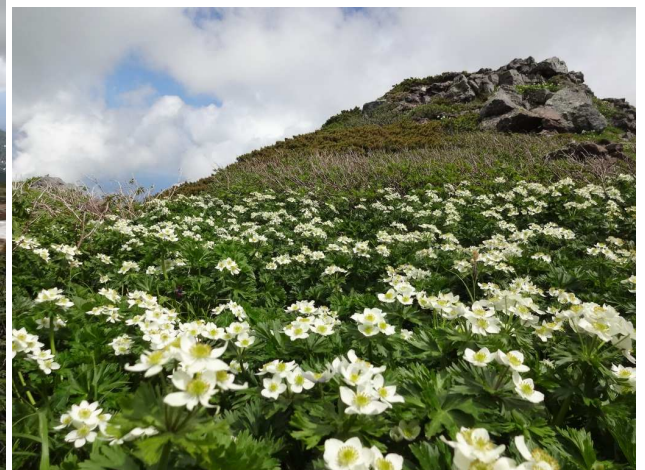
ロープ場急登後には天上の楽園が待っていた



南暑寒別岳の左に雨竜湿原が望めた



お花畑





360度のロケーション 奥には奥徳富岳、群別岳、浜益岳への稜線

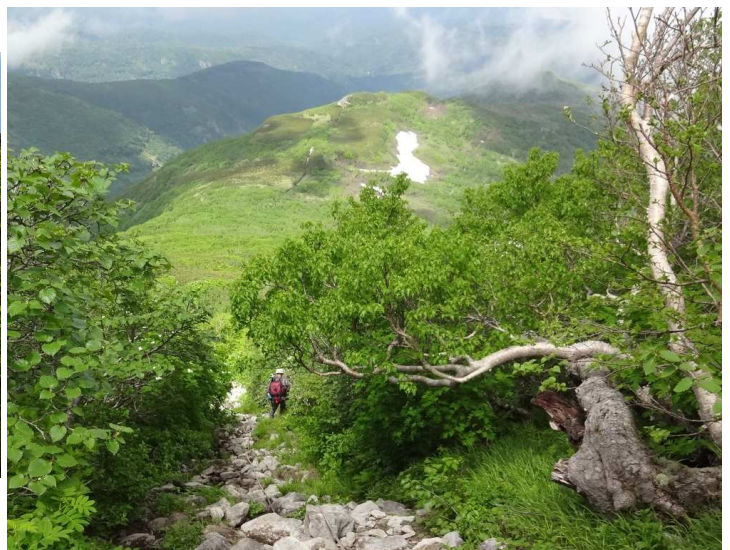


ゆっくり景色を堪能したら来た道を引き返す



広大で緩やかな暑寒荘ルート尾根を下ってゆく

少し緊張しながらロープで



滝見台から稜線の見納め



根曲り竹がある急斜面帯につい先ほどしたばかりの
ようなヒグマの糞が・・・



予想通りに 11 時間を掛けてピストンして暑寒荘にたどり着いた



北海道特有のヒグマ対応のゴミ収納箱



増毛からバスで留萌駅へ



タクシーで増毛の民宿へ



今は食堂になっている旧増毛駅舎



車窓からの増毛山地（暑寒別岳）



今日はニセコへの移動日



余市から内陸のニセコへ

バスを降りてニセコ駅へ、ニセコアンヌプリが正面に



ニセコ駅で送迎車待ち

近くでランチ、正面には羊蹄山



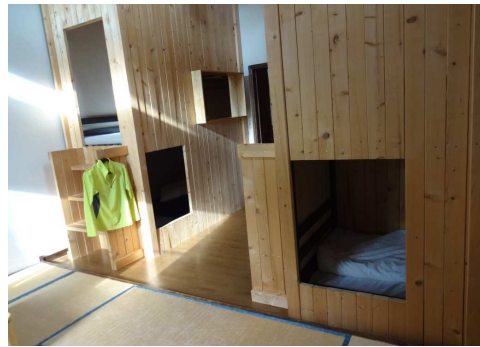
ニセコアンヌプリと羊蹄山が向き合っていることがよくわかる案内板



ネット上では評判の良い
ロッジ風の潇洒なつくりの
ノートラック



残念ながら今回はホテルオーナーの事情で素泊まり、キッチンを使っでの自炊料理となった
ロッジ風の部屋に寝室はカプセル式



翌日は比羅夫登山口から 4:50 出発



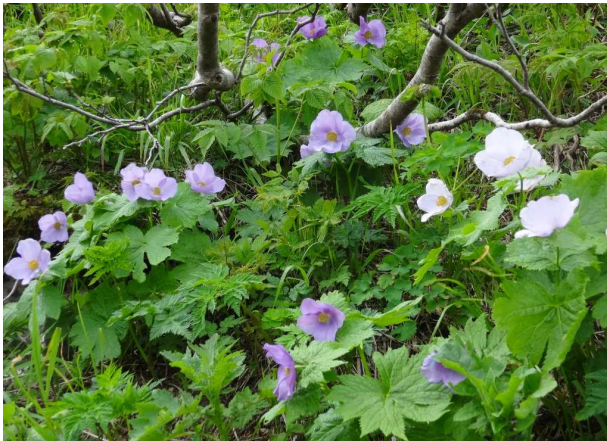
暑寒別岳とは異なり急登の連続



20 名ほどのツアーの団体と抜きつ抜かれつ



ニセコアンヌプリが眼下に



お釜の稜線、羊蹄山山頂に近づくにつれ風が一層つよい



気味が悪く雲を巻き込んだ渦巻く airflow が・・・



強い風で歩くのもやっと。風の息の合間に進む
ストックで身体が流されないように



不気味な気流の流れが、突風が吹いている証



何とか登頂記念写真だけは



お釜の周回をあきらめて真狩下山口へ向かう



雪の吹き溜まりの雪渓を抜けて



お釜を半周して真狩コースを降りる





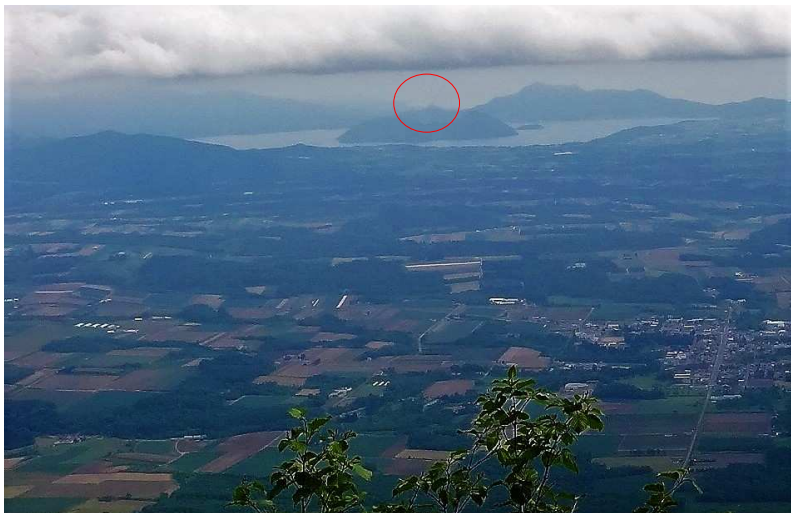
羊蹄山唯一の避難小屋を見ながら



思いもかけず洞爺湖が見えていた



まさか洞爺湖中央の島裏に見える凸部の山が昭和山だったとは



標高差1650m、11時間を要して
真狩コース登山口にたどり着いた
無事に歩きとおせたことに感謝です

